

令和 2 年浦安市教育委員会第 10 回定例会会議録

浦安市教育委員会

令和2年浦安市教育委員会第10回定例会

- I. 日 時 令和2年10月1日(木)  
開 会 午後3時05分  
閉 会 午後4時55分
- I. 場 所 文化会館 3階 中会議室
- I. 進 行 教 育 長 鈴木忠吉
- I. 出席委員 教育長職務代理者 宮道 力  
委 員 宮澤 ミシェル  
委 員 吉野 則子  
委 員 影山 純二
- I. 出席説明者 教育総務部長 白石嘉雄  
教育総務部参事 大友隆司  
教育総務部次長 醍醐 恵二  
教育総務部副参事(教育総務課長) 河野 良江  
指 導 課 長 丸山 恵美子  
生涯学習部長 八田 吉浩  
生涯学習部次長 島崎 浩一  
生涯学習課長 土久 菜穂
- I. 傍 聴 人 2名
- I. 案 件  
第1. 会議録の承認  
第2. 教育長からの一般報告

### 第3．審議事項

### 第4．協議事項

- 1．ふるさとوراやす立志塾について

### 第5．報告事項

#### 1．行事開催案内

- (1) 令和2年度青少年文化・芸術支援事業「青少年音楽祭2020」開催案内
- (2) 令和2年度第40回市美術展開催案内
- (3) 令和2年度浦安市成人式開催案内

#### 2．行事・会議報告

- (1) 令和2年度浦安市児童生徒科学作品展実施報告

#### 3．その他・報告事項

- (1) 教育委員会共催・後援行事一覧

### 第6．その他

## 開 会 (午後 3 時 05 分)

- 鈴木教育長 これより令和 2 年浦安市教育委員会第 10 回定例会を始める。  
議事に入る。
- 議事の第 1. 会議録の承認について、本日の上程はない。  
次に、議事の第 2. 教育長からの一般報告に移る。私から報告する。  
1 点目は、教育委員の就任についてである。
- この会議の前に市長より宮澤委員の再任と影山委員の新任について、辞令が交付された。宮澤委員には、これまでの本人自身の経歴や職歴、また、教育委員として 3 期半、10 年にわたりお引き受けいただいております、様々な視点で本市教育行政の牽引をお願いしたいと思う。
- また、影山委員には、明海大学経済学部教授として、そして中学生二人の保護者の立場、また、高洲北小学校元 P T A 会長や、市 P T A 連絡協議会の副会長としての経験から、全市的な視点で教育行政を見ていただき、御示唆いただきたいと思います。
- 2 点目は、美浜公民館のリニューアルオープンについてである。
- 10 月 5 日に美浜公民館がリニューアルし、前庭が大幅に変わった。ロビーも含め、全体的に明るく、使い勝手がよくなったように思う。事前に内覧したが、図書館の屋外デッキから見る風景が、隣接するの美浜公園と一体化し、同じく隣接する美浜北小学校校庭、美浜北認定こども園からも見通せるようになった。リニューアルイベントは、コロナ禍のため小規模の実施となった。各委員にも、ぜひ立ち寄っていただきたいと思う。
- 3 点目は、9 月 19 日に実施した第 2 回図書館協議会についてである。
- 第 1 回は、コロナ禍により書面審査であったことから、第 2 回となる今回が今年度初めての開催となり、私から挨拶させていただいた。中央図書館のリニューアルオープンや子ども図書館建設に向けた委員長からの挨拶を受け、非常に期待され、全国的にも注目されているというお話に身が引き締まる思いであった。

また、本日、10月1日付けで新しく図書館司書2名を採用した。本日の新聞記事にも図書館司書の重要性というテーマで、国文学者の中西館長の思いが掲載されていたが、市長より浦安市の図書館運営は直営で、かつ専門職を採用していくとお話いただき、大変ありがたく、とても心強く思っている。

最後に、運動会、体育祭の代替行事についてである。

中学校では、既に5校が実施され、幼稚園・認定こども園は、一昨日から始まっている。どの学校、園も新型コロナウイルス感染症対策として短時間での実施や接触を避ける競技の採用、また、保護者の観戦人数を制限するなど、様々な工夫をして取り組んでいた。

中学校は、総合体育館のアリーナを使用し、屋内でのスポーツ大会を実施する学校や、全員がバトンをつなぐ全校学級対抗リレーでとても盛り上がる様子を見ることができた。

認定こども園は、年少・年中・年長に分けて短時間で開催したり、休憩の時間にはハーフタイムとして、他学年のダンスを披露したりするなど、工夫した取り組みをしていた。

どの学校の子どもたちも笑顔で、目が輝いていた。コロナ禍にあり、子どもたちなりに我慢して学校生活を送っている様子が伺えた。

市によっては、運動会や体育祭を見送った地域もあると聞いているが、本市の場合は校長先生方をはじめ、教職員、特に中学校では、生徒たちの意見を聞きながら準備を進めてきたと聞いている。学校行事は子どもたちの学校生活に潤いを与える大変重要な教育活動となる。なお、小学校の運動会の代替は、10月の土曜日に全ての小学校で行われるため、次回紹介する。

以上、私からの一般報告とさせていただきます。

それでは次に、議事の第3. 審議事項に移るが、本日は審議事項の上程はない。

次に、議事の第4. 協議事項に入る。

1. ふるさとうらやす立志塾について、事務局からの説明を求める。

丸山指導課長 令和2年度ふるさとうらやす立志塾について、説明させていただく。

本事業は、平成23年度から21世紀のリーダー育成を目的に当初は県外研修をはじめ、県内外の多くのロールモデルから志を立てることの大切さを学んできた。その後、当初の目的を受け継ぎつつ、地域を知り、郷土愛を育みながら、学校や地域での実践を視野に入れた実践力を育成する研修へと深化させてきた。

今年度で10年目を迎え、事業の目的を見直し、郷土愛を育みながら、学校のリーダーとしての資質・能力の向上を図ることに重点を置くこととした。今年度も横浜国立大学の西脇保幸氏を塾長とし、研修を実施する計画を立てている。

今年度、目的の見直しを踏まえて大きく変更した点は3点となる。

1点目は日程である。今年度は各校の生徒会活動と連携させながら立志塾を展開させようと考え、生徒会活動に合わせて、研修を12月末から令和3年度の6月にかけて年度をまたいで計6回実施する。コロナ禍での実施を考慮し、宿泊は行わず、浦安市文化会館を中心に研修を行う。

2点目は、対象生徒となる。これまでは各中学校生徒会役員等の2年生から3名の選出となっていたが、今年度から2名の選出とした。

3点目は、研修内容である。これまでは、うらやすっ子SNSルール中学生サミットは、立志塾とは別の事業として行っていたが、今年度は、リーダー研修の一部として、うらやすっ子SNSルール中学生サミットを行うこととし、同じ生徒を対象として行ったほうがより充実したサミットの実施ができるのではないかと考え、変更したものである。

詳細の計画については現在検討中となるが、生徒のリーダーシップを育むために、研修内容や研修場所等について様々な角度からぜひ意見をいただきたい。

鈴木教育長 現時点で検討しているふるさとうらやす立志塾の事業計画について、意見をいただきたい。各委員には、昨年度のふるさとうらやす立志塾の報告書を配布させていただいた。今年は、コロナ禍のため夏を中心に実施することができなくなったこと、そして泊を伴うことができなくなっ

たため、縮小せざるを得なくなった。今年実施できる範囲で実施したいという事業計画案となる。

人数も3名から2名に減らし、泊を伴う研修をやめる。また、11月からのスタートとなり、立志塾で学んだことを3年生になり、新しい生徒会の会長、役員となり学校の中で生かしていけるよう計画した。

委員 立志塾は、すごく良い取組であると思う。この地域の郷土愛を育むことを目的としたとき、公民館などで行われている社会教育と上手く結びつけることができればよいと思う。うらやす市民大学で開催されているまちづくりに関する講座と連携し、子どもたちと一緒に考えるなどの取組があってもよいと思う。

鈴木教育長 過去にこのような事例はあるのか。

丸山指導課長 地域に根ざして活動していくという視点で、市内の環境団体や浦安市に本拠地を置くスポーツチームなどに講師を依頼し、現地に行って学ぶなどしている。

鈴木教育長 西脇塾長になられてからは、浦安のまちを歩くなどフィールドワークが取り入れられている。

ふるさとうらやす立志塾は、東日本大震災の影響を受け、新規事業を取りやめる中、唯一新規で実施した。1年目は、社会で活躍している方のお話を聞き、2年目からは、東日本大震災の被災地である東北で研修を行い、4年間実施した。東日本大震災の被災から復興していく様子や被災された若い人たちと話をするなど、感性豊かなあの年代の子どもたちにとって、とても意義があったと思う。ここ3、4年は、ふるさとである浦安を視点に実施し、塾長も西脇先生にお願いしたところである。

委員 1年目の立志塾の研修で、リーダーの役割をテーマに講演したことを思い出す。10年目を迎え、塾生たちが、どのように成長し、活躍されて

いるかが気になる。浦安のために何かされている先輩が出てくると非常にうれしく思う。

なぜ、対象人数を3名から2名に減らしてしまったのか伺いたい。

丸山指導課長 卒塾生の追跡調査はできていないが、ふるさとうらやす立志塾を経験した生徒が、浦安のために何かしたいという思いから、成人式実行委員に立候補していると聞いている。

人数については、男女比や3名から2名とした方が、より深い対話ができることから変更することとした。

鈴木教育長 ふるさとうらやす立志塾の卒塾生の成人式実行委員会委員への応募状況はいかがか。

島崎生涯学習部次長 ここ数年、立志塾の卒塾生が実行委員として参加している。また、この2年間については、前年度の実行委員が受付を手伝うなど、ボランティアとして協力いただいている。

鈴木教育長 4年前から立志塾の第1期生が成人式実行委員の対象になり、毎年のように委員に卒塾生がいる。

丸山指導課長 昨年度、一昨年度も立志塾の卒塾生が、その年の立志塾の講師となり、先輩から後輩へ今何をすべきかという話をしていただいている。年の近い先輩から実体験をもとにした話が聞けるということで大変参考になったと聞いている。

鈴木教育長 それは今回の計画にも入っているのか。

丸山指導課長 例年は、宿泊の夜の時間帯の研修が、今回は、平日の午後または土曜日となる。できれば入れたいと考えているが、卒塾生の都合もあると思う。



委員 姉妹都市や友好都市とオンラインを使った交流などを行ってもよいと思う。また、オンラインを活用して、地域の人や市長、教育長からもお話しを伺うことで、幅広い視点を持つことができる。

鈴木教育長 今年は難しいと思うが、災害協定を結んでいる自治体と、子ども同士のつながりを持つきっかけになると思う。

委員 今の若い人は、リーダーになりたいと希望する人が減っている。なるべく目立ちたくない、責任は持ちたくないという若者が多いように思う。中学生のこの時期から学ぶことは大切であると思う。できれば参加者を増やせるとよいと思う。

鈴木教育長 今回、3名から2名とし、校長からの推薦で生徒会役員またはそれに準ずる生徒に参加してもらい、学校での生徒会活動で広げてほしいと考えている。人数の制限があるため、その各学校の取組を持ち寄り、SNSサミットで話し合う計画を検討している。

委員 コロナ禍のため仕方がないが、宿泊ができないということが非常に残念である。来年度以降、宿泊が可能になったら戻していただきたいと思う。

鈴木教育長 同じ釜の飯を食う、同じ寝床で寝る、同じ風呂に入るという経験は、人間にとって、とても大事なことだと思う。1泊でもよいので、泊を入れたかったが、今年は冬休み期間も短くなるため、難しいと考えている。

委員 やはり泊を入れたほうが楽しいと思う。ただ、この状況下では、やむを得ないと思う。

鈴木教育長 感想も含めて各委員より意見をいただいた。指導課で意見を踏まえ、

今年は難しくとも次のステップに向けて進めていただきたいと思います。

次に、議事の第5．報告事項に移る。

まず、1．行事開催案内である。

報告事項の(1)から(3)について事務局からの説明を求める。

土久生涯学習課長 私から行事開催案内3点について、報告する。

はじめに、青少年文化・芸術支援事業「青少年音楽祭2020」の開催についてである。

これは、本市在住・在学の子どもたちに日頃の活動成果を発表する場を提供するもので、内容は音楽を中心とした楽器演奏、合唱などとなる。

日時は、10月31日を予定しており、同日、浦安公園周辺で浦安市民まつりが開催される。この市民まつりでは、青少年音楽祭2020のほかにも植木まつり、環境フェア、市民参加推進講演会などの行事が行われる。

場所は、文化会館大ホールで行う。

開催にあたっては、大ホールで演奏や定員の制限をしている状況下にあることや、子どもたちの活動もできていない状態の中、申し込みがあるか不安であったが、8月21日から9月11日までの締切りで募集し、うれしいことに9団体から参加申し込みをいただいた。今年度はコロナ禍により発表の場が非常に減っていたため、多くの応募をいただいたところである。

会場の大ホールでは、コロナ禍であることから、例年より少し開催時間を縮小し、食事を文化会館の中で取らないよう昼休みを挟まない形で開催する。

次に、第40回市美術展についてである。

こちらは、広く市民の方から美術作品の公募を行い、展覧する。出品種目等は、書道、日本画、洋画、工芸、彫塑となる。応募資格は16歳以上の市内在住・在勤・在学の方、本市出身の方となる。

こちらも、コロナ禍であるため、開催すべきかどうか非常に悩んだところだが、協力いただいている浦安市美術協会の皆様方から「例年どおりの開催で大丈夫だと思う」という力強い言葉をいただき、開催するこ

とを決定した。

日程は、作品展示が11月9日から15日までと予定している。

会場は、昨年度に大規模改修を行っていた市民プラザで開催する。市民プラザは、作品を展示する市民ギャラリーが非常にきれいになり、作品が映えるのではないかと期待している。

入賞等は例年どおりとなる。

コロナ対策としては、展示について、今までは自由に会場内を見ていただいたが、今年は一方通行にし、混雑時は入場制限をする。また、表彰式の後に入賞された作品を審査員が講評を行っているが、これを書面とする。

次に、令和2年度浦安市成人式の開催についてである。

来年1月11日成人の日に、東京ディズニーリゾートで開催する。コロナ禍であるため、具体的な会場については、現在、オリエンタルランド社と調整中となる。

今年度の対象人数は約2,100人となる。

実行委員会は、例年6月から12月に活動をしているが、コロナ禍であることから、会議の開催ができない状況が続いていた。9月15日号の広報で募集記事を掲載し、募集を行ったところ、うれしいことに定員を上回る応募があり、これから選考を行う予定である。実行委員会では、成人式のテーマの決定やプログラムデザインの作成等、例年よりも少し活動範囲が狭まってしまうが、10月から4回ほど活動をしていただき、実行委員会の提案の下、式典を開催していきたいと考えている。

説明は以上である。

- 鈴木教育長      ただいま報告がなされた行事開催案内3件に対する質問を受け付ける。青少年文化・芸術支援事業は、例年、参加団体数はどの程度か。
- 土久生涯学習課長      昨年度は、参加団体が9団体となる。例年、10団体前後となる。
- 委            員      会場の文化会館のガイドラインは、コロナの状況によって変化がある

のか。また、地域ごとに違いはあるのか。

鈴木教育長 開催日の10月31日現在では、どのような条件となっているのか。

土久生涯学習課長 文化会館では、開館した当初にはホールの使用は行っていなかったが、国あるいは県で段階的に緩和を行ってきたことから、ホールの使用を再開した。ただ、その段階は定員が半分で、吹奏楽などの活動はお断りしていた。その後、管楽器の緩和、合唱についてはマスクをした上であれば可能となり、徐々に緩和をしている。

10月1日からは、国、県が限定的に定員の緩和をしており、観客が声を発する可能性があるロックコンサートなどは、定員の半分としているが、それ以外のクラシックや落語、ミュージカルについては、定員100%で運用するよう変更する。

青少年音楽祭については、出演者の募集した段階ではまだ定員を半分としていたため、現段階では、定員480人としている。

鈴木教育長 市美展の作品の展示期間は、例年と同じなのか。それとも今年は密にならないよう期間を長めに設定しているのか。

土久生涯学習課長 市美展の作品展示期間は、例年どおりの期間となる。

委員 成人式について、今年の対象者は2,102名ということだが、昨年と比較していかがか。

土久生涯学習課長 昨年度の対象者は2,187名となり、人数は大きく変わらない。今後は、少子化の影響により対象者が減っていくと予想している。

鈴木教育長 例年、参加率は80%程度か。

土久生涯学習課長 昨年度は76.7%、一昨年度が77%であった。

委員 近隣自治体の成人式の参加率はどのくらいか。

土久生涯学習課長 平成30年度の実績となるが、船橋市が58%、市川市が45%で、大体40%から60%ぐらいの参加率と聞いている。

委員 例年、成人式が終わった後、パークチケットを持っているため、そのままパークで遊ぶことができると思うが、コロナ対策として、式の回数を増やし、夕方ごろに式を開催することになった場合、遊べる時間が短くなるため、新成人から不満が出るように思うがいかがか。また、成人式までにコロナが大流行してしまうことも考えられることから、成人式を文化会館で開催し、新成人にパークチケットを贈るなどの方法も考えられると思うが、いかがか。

土久生涯学習課長 東京ディズニーリゾートでの開催については、例年、新成人の希望を聞いて実施しているが、今回は実行委員会が開催できなかったことから、例年ディズニーランドが選ばれてきたことや、新成人にとっても思い出のある東京ディズニーリゾートで開催をすることとした。

例年、午前中に2回開催してきたが、コロナ禍では2回での開催は厳しいと考えており、回数を増やすことも検討している。事務局としては、新成人の皆さんが、同じようにその日を過ごしていただきたいと考えており、不公平感が出ないような方法を考えていきたい。

委員 参加される新成人の方にとって最適な形となるよう検討いただきたいと思う。

鈴木教育長 これから実行委員が集まる。事務局には委員の発言のとおり、新成人ににとって不公平感のないよう検討いただきたい。

次に、2. 行事・会議報告に移る。

報告事項の(1)については、事前にお配りした資料をもって報告とさせ

ていただく。

行事・会議報告 1 件に対する質問を受け付ける。

夏休み期間が短かった中、児童生徒科学作品展が行われた。例年と比べて今年度の状況はいかがか。

丸山指導課長 当初、短い夏休み期間であったため、作品数が少ないのではないかと懸念されたが、全ての学校から応募があり、多い学校では、小学校で 100 点近くの応募があった。点数は、ほぼ例年と同様となっている。特に論文で、継続してきた研究を行い、発表するというように、この作品展を楽しみにしている子どもたちが多いように思う。

鈴木教育長 本当に子どもたちの作品を見ていると、自分でやりたいという興味関心や意欲が高いと感じた。

今年は夏休みが 8 月 1 日から 18 日までと短く、工夫してほかの課題を出さなかった学校もあると思う。

県の作品展は、開催するのか。

丸山指導課長 県では、論文と科学作品が応募できる。見合う作品があれば、学校から直接応募してほしいとお知らせをした。資料の 6. 出品点数にある「千葉県児童生徒科学作品が中止のため」とあるが、これについて、千葉県の児童生徒科学作品展は中止になるが、審査は行われるということである。

委員 学校によって出品数に差があるのか。

丸山指導課長 この作品展への出品について、1 校だけ作品数がゼロという学校があったが、校内では作品を提出した生徒もおり、校内での審査を行い、学校の代表として見合ったものには少し届かなかったということであった。

鈴木教育長 県の作品展は、学校が直接、県に出品する点が、例年と異なるという

ことか。

丸山指導課長　　そうである。

鈴木教育長　　ほかにないか。よろしいか。

次に、3. その他・報告事項に移る。

報告事項の(1)については、事前にお配りした資料をもって報告とさせていただきます。

その他報告事項1件に対する質問を受け付ける。

何かあるか。よろしいか。

次に、議事の第6. その他へ移るが、本日、その他の事項の上程はない。

次に、各委員の皆様から何かあれば発言をお願いしたい。

委　　員　　美術展や科学展に関連して、映像は作品として出品することはできるのか。例えば、子どもたちが動画を撮り、映画のようなものにまとめ、皆に見ていただくことができればよいと思う。私が知る限りまだないと思うので、検討いただきたい。

丸山指導課長　　現在のところ。映像作品の受け付けは行っていない。今後、検討させていただきますと思う。

委　　員　　例えば、夏休みの自由研究に映像でもいいと入れておくだけで変わると思う。

大友教育総務部参事　　夏休みの作品展は、各学校で実施しており、学校単位で映像作品を提出するという事は十分可能だと思う。

鈴木教育長　　今後は、映像作品が出てくることも考えられる。

丸山指導課長　それぞれの作品展等については、部門が決まっており、映像という部門はないが、ただ、工夫をしながら、映像に撮って論文をまとめるというような作品が今後出てくることも考えられる。

鈴木教育長　ICT機器の活用を促すという点であれば、上位にはいかなくても浦安市だけで実施してもよいと思う。

委員　今の提案で、例えば実際に使うことでSNSサミットではないが、守るべきルールみたいなものも併せて指導していくという学びにつながることも考えられる。

鈴木教育長　委員の発言にもあったように今は、インターネットでやり方を検索することができ、子どもたちはいつでも情報を得ることができる。ただ、過去の作品を少し手直しして出品されてしてしまうこともあるため、気を付けなくてはいけない。

委員　科学部がある学校では、団体の研究することで、子ども同士と一緒に学ぶ機会を作ることができると思うが、いかがか。

鈴木教育長　浦安中や堀江中には科学部がある。団体の科学作品展に応募することはできるのか。

丸山指導課長　応募の時期が、夏休み明けとなるため、夏休みの課題として行っており、作品を作ることが中心となるため、作品展について学校の部活動で指導することはなかなかできない。今後は、子どもたちを育てていくという視点で、学校の部活動も活用し、子どもたちの力を育てていきたいと考えている。

鈴木教育長　団体部門はないのか。科学部として共同でもよいと思う。



丸山指導課長 教材の作成や団体での応募は、別の大会があると思うので、確認をさせていただきます。

鈴木教育長 以上で、令和2年浦安市教育委員会第10回定例会を閉会する。

閉 会 (午後4時55分)